

## 福島県総合計画総点検の実施方法について

### 1 総合計画「ふくしま新生プラン」の構成と進行管理・総点検

#### (1) 総合計画「ふくしま新生プラン」の主要施策の構成

総合計画「ふくしま新生プラン」は、県のあらゆる政策分野を網羅し、県づくりの指針や施策を示す県の最上位計画（計画期間：2013年～2020年）。

「夢、希望、笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を基本目標に、「人と地域」を礎として、「活力」、「安全と安心」、「思いやり」を3つの柱に、政策分野、取組の方向性、政策分野別の主要施策、地域別の主要施策で構成されている。

政策分野（22）：目指す将来の姿（30年後の将来像）に向けた視点

取組の方向性（84）：目指す将来の姿に向けて様々な主体が力を合わせて取り組んでいく方向性

政策分野別の主要施策（422）：県が計画期間に取り組む主要な施策

指標（172）：県の取組の成果を示す目標値又は目指す方向性

地域別の主要施策：7つの生活圏それぞれが抱える課題や観点から各地域で推進する施策



#### (2) 進行管理

毎年度、政策分野別・地域別主要施策の進捗や課題を分析した評価（1次評価）を行い、主要施策評価調書等を作成して総合計画審議会において課題や方向性を審議（2次評価）し、その後、審議会から知事に具申された意見を次年度事業に反映させることによって、総合計画の着実な推進を図っている。

#### (3) 総点検

総合計画のスタートから7年目を迎え、各施策については既に目的を達成したもの、本県の現状が今後の方針に必ずしも即していないもの（ニーズと施策の不一致等）などが見受けられることから、現行計画の着実な推進及び次期計画策定に向けた準備作業として、各施策の進捗状況等を評価し、課題等を整理する。

## 2 総点検の実施方法

### (1) 各部局による総点検

#### ① 回答様式と回答方法

##### 【回答様式：別紙1-1「政策分野別主要施策点検調書」】

- ・「政策分野(22)」、「取組の方向性(84)」、「主要施策(422)」、「対応指標(172)」の欄には、総合計画「第3章政策分野別の主要施策」の記述を掲載しています(詳細は様式右端の「計画書ページ」を参照)。
- ・「担当部局(想定)」欄の割振りをもとに、各部局において、以下の回答欄ごとの回答方法を参照のうえ評価を行ってください。
- ・「評価(①～⑦)」欄

→ 各主要施策及び対応指標の評価(H25～H30)について、最も近いものを以下の選択肢①～⑦(ドロップダウンリスト)から選択してください。

また、具体的に評価の理由について、各施策の代表的な取組(事業)の実績や社会情勢等を踏まえた評価を以下の記載例を参考に、「施策評価(H30年度末時点)」欄に記入してください(※判断に迷う場合にはご相談ください)。

#### <選択肢と評価理由の内容>

- ・ 既に(H30年度末時点で)取組の目的を完了・達成している場合

<選択肢>① 完了・達成(H30年度末時点)

<評価理由>① 成果・実績を記入

例) ○○を進め、◇◇を達成した(◇◇を解消した)。

※計画より前倒しで完了等の場合は要因も記載

- ・ 計画期間の終了(R2年度末)までに取組の目的を完了見込みの場合

<選択肢>② 完了見込み(R2年度までに)

<評価理由>② 成果・実績(見込み)を記入

例) ○○を進め、◇◇年度までに△△を達成する見込み

(△△を解消する見込み)。

- ・ 取組の目的を達成できずやむなく取組を廃止する場合

<選択肢>③ 目的を達せず廃止

<評価理由>③ 取組の目的を達成できない(できなかった)理由を記入

例) ○○を進めていたが、◇◇の問題が発生し、事業を断念せざるを得ず、目的を達成できなくなったため。

- ・ 現行の取組を次期計画以降（R3年度～）も継続する必要がある場合

<選択肢>④ 現行の取組の継続が必要

<評価理由>④ 取組の現状等を記入

例) ○○を進めていたが、◇◇の要因により△△が完了（達成）していないため、R3年度以降も引き続き現行の取組を継続する必要があるため。

- ・ 現行の取組を継続しつつ、一部見直しの必要がある場合

<選択肢>⑤ 現行の取組の一部見直しが必要

<評価理由>⑤ 取組の現状と一部見直しが必要となる理由を記入

例) ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があつたが、△△の要因により、これ以上の効果が見込まれないことから、取組の一部見直しが必要となるため。

- ・ 現行の取組を継続しつつ、拡充の必要がある

<選択肢>⑥ 現行の取組の拡充が必要

<評価理由>⑥ 取組の現状と拡充が必要となる理由を記入

例) ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があつたが、さらに取組を拡充することによって、より一層の効果が見込まれるため。

- ・ 新たな取組が必要となる場合

<選択肢>⑦ 新たな取組が必要

<評価理由>⑦ 新たな取組が必要となる背景（課題等）を記入

例) ○○センターの整備が完了し、今後は同施設における調査・研究等に重きを置いた取組を新たに追加する必要があるため。

※選択肢①～⑦について、判断に迷う場合はご相談ください。

- ・ 「今後の課題」欄

→ 今後の課題について、箇条書きで記入してください。

- ・ 「R3年度以降の方向性」欄

→ 次期総合計画期間（R3～）を想定した対応方針を、以下の記載例を参考に記入してください。なお、現時点での想定のため、記載内容が今後の事業構築に影響するものではありません。

<選 択 肢>① 完了・達成（H30 年度末時点）  
② 完了見込み（R2 年度までに）  
③ 目的に達せず廃止

<対応方針> 記入不要

<選 択 肢>④ 現行の取組の継続が必要

<対応方針>④ ○○の取組など継続することを検討

<選 択 肢>⑤ 現行の取組の一部見直しが必要

<対応方針>⑤ ○○の取組など◇◇を△△に一部見直すことなどを検討

<選 択 肢>⑥ 現行の取組の拡充が必要

<対応方針>⑥ ○○の取組など◇◇を△△に拡充することなどを検討

<選 択 肢>⑦ 新たな取組が必要

<対応方針>⑦ 新たに○○の取組などを検討

・「担当部局（想定）」欄

→ 主要施策及び対応指標の担当部局（想定）を入力してあります。各部局においては、割振りを参考に評価を行ってください。なお、担当部局の割振りが施策内容と異なる場合には当課まで報告願います。

・「担当課室」欄

→ 各部局において、主要施策及び対応指標の担当課室を入力してください。

(2) **各振興局による総点検**

① 回答様式と回答方法

【回答様式：別紙 1－2「地域別主要施策点検調書」】

・「課題」、「施策への展開方向」、「主要施策」、「主な取組」の欄には、総合計画「第 4 章地域別の主要施策」の記述を掲載しています（詳細は様式右端の「計画書ページ」を参照）。

・「担当振興局」欄の割振りをもとに、各振興局において、以下の回答欄ごとの回答方法を参照のうえ評価を行ってください。

・「評価（①～⑦）」欄

→ 各主要施策及び主な取組みの評価（H25～H30）について、最も近いものを以下の選択肢①～⑦（ドロップダウンリスト）から選択してください。

また、具体的に評価の理由について、各施策の代表的な取組（事業）の実績や社会情勢等を踏まえた評価を以下の記載例を参考に、「**施策評価（H30 年度末時点）**」欄に記入してください。

### <選択肢と評価理由の内容>

- ・ 既に（H30年度末時点で）取組の目的を完了・達成している場合

<選択肢>① 完了・達成（H30年度末時点）

<評価理由>① 成果・実績を記入

例) ○○を進め、△△を達成した（△△を解消した）。

※計画より前倒しで完了等の場合は要因も記載

- ・ 計画期間の終了（R2年度末）までに取組の目的を完了見込みの場合

<選択肢>② 完了見込み（R2年度までに）

<評価理由>② 成果・実績（見込み）を記入

例) ○○を進め、◇◇年度までに△△を達成する見込み

（△△を解消する見込み）。

- ・ 取組の目的を達成できずやむなく取組を廃止する場合

<選択肢>③ 目的を達せず廃止

<評価理由>③ 取組の目的を達成できない（できなかった）理由を記入

例) ○○を進めていたが、◇◇の問題が発生し、事業を断念せざるを得ず、目的を達成できなくなったため。

- ・ 現行の取組を次期計画以降（R3年度～）も継続する必要がある場合

<選択肢>④ 現行の取組の継続が必要

<評価理由>④ 取組の現状等を記入

例) ○○を進めていたが、◇◇の要因により△△が完了（達成）していないため、R3年度以降も引き続き現行の取組を継続する必要があるため。

- ・ 現行の取組を継続しつつ、一部見直しの必要がある場合

<選択肢>⑤ 現行の取組の一部見直しが必要

<評価理由>⑤ 取組の現状と一部見直しが必要となる理由を記入

例) ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があったが、△△の要因により、これ以上の効果が見込まれないことから、取組の一部見直しが必要となるため。

- ・ 現行の取組を継続しつつ、拡充の必要がある

<選択肢>⑥ 現行の取組の拡充が必要

<評価理由>⑥ 取組の現状と拡充が必要となる理由を記入

例) ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があったが、さらに取組を拡充することによって、より一層の効果が見込まれるため。

- ・ 新たな取組が必要となる場合

<選択肢>⑦ 新たな取組が必要

<評価理由>⑦ 新たな取組が必要となる背景（課題等）を記入

例) ○○センターの整備が完了し、今後は同施設における調査・研究等に重きを置いた取組を新たに追加する必要があるため。

※選択肢①～⑦について、判断に迷う場合はご相談ください。

- ・ 「今後の課題」欄

→ 今後の課題について、箇条書きで記入してください。

- ・ （評価が④～⑦の場合のみ記載）

「R3年度以降の方向性」欄

→ 次期総合計画期間（R3～）を想定した対応方針を、以下の記載例を参考に記入してください。なお、現時点での想定のため、記載内容が今後の事業構築に影響するものではありません。

<選択肢>① 完了・達成（H30年度末時点）

② 完了見込み（R2年度までに）

③ 目的に達せず廃止

<対応方針> 記入不要

<選択肢>④ 現行の取組の継続が必要

<対応方針>④ ○○の取組など継続することを検討

<選択肢>⑤ 現行の取組の一部見直しが必要

<対応方針>⑤ ○○の取組など◇◇を△△に一部見直すことなどを検討

<選択肢>⑥ 現行の取組の拡充が必要

<対応方針>⑥ ○○の取組など◇◇を△△に拡充することなどを検討

<選 択 肢>⑦ 新たな取組が必要

<対応方針>⑦ 新たに〇〇の取組などを検討

### (3) 総点検に関する留意事項

- ・複数の部局にまたがる取組内容については、各部局からそれぞれいただいた回答内容を当課で整理・統合して記述します。
- ・回答内容に関して、当課より追加で確認する場合があります。
- ・総点検結果は、総合計画・復興計画の見直しに関する「総合計画審議会」及び「総合計画・復興計画策定検討部会」に諮る予定ですので、総点検結果の暫定版が完成し次第、別途照会します（審議会・部会は一般県民傍聴可、資料はHPで公表。）
- ・各振興局は、必要に応じて点検に係る施策内容等について各部局に確認願います。また、各部局は各振興局から協力の依頼がありましたらご協力願います。

# 福島県総合計画(ふくしま新生プラン) 政策分野別主要施策点検調書

評価対象項目

政策分野(22)	取組の方向性(84)	主要施策(422)	対応指標(172)	評価(①～⑦)	施策評価(H30年度末時点) (実績・社会情勢等を踏まえた評価理由)	今後の課題	R3年度以降の方向性 (評価④～⑦が記載)	担当部局(想定)	担当課室	計画書 ページ	
【礎】人と地域が輝く「ふくしま」											
例)					⑥ 現行の取組の拡充が必要	コメント参照	例(箇条書き) ・〇〇のため〇〇が課題 ・〇〇が未対応のため、〇〇が課題 ・ ・				
例)					⑦ 新たな取組が必要	コメント参照	例(箇条書き) ・〇〇のため〇〇が課題 ・〇〇が未対応のため、〇〇が課題 ・ ・				
							次期総合計画期間(R3以降)を想定した対応方針を記入願います。現時点での想定のため、記載内容が今後の事業構築に影響するものではありません。				
子ども・子育て	① 安心して出産できる環境づくりを進めます。		1	妊産婦の健康管理に関する取組	<b>ドロップダウンリストから選択</b> ① 完了・達成(H30年度末時点) ② 完了見込(R2年度までに) ③ 目的を達せず廃止 ④ 現行の取組の継続が必要 ⑤ 現行の取組の一部見直しが必要 ⑥ 現行の取組の拡充が必要 ⑦ 新たな取組が必要	代表的な取組(事業)を踏まえ記載  <入力例> 評価① 成果・実績を記入 〇〇を進め、△△を達成した(△△を解消した)。 ※計画より前倒しで完了等の場合は要因も記載  評価② 成果・実績(見込み)を記入 〇〇を進め、◇◇年度までに△△を達成する見込み(△△を解消する見込み)。  評価③ 取組目的を達成できない(できなかった)理由を記入 〇〇を進めていたが、◇◇の問題が発生し、事業を断念せざるを得ず、目的を達成できなくなったため。  評価④ 取組の現状等を記入 〇〇を進めていたが、◇◇の要因により△△が完了(達成)していないため、R3年度以降も引き続き現行の取組を継続する必要があるため。  評価⑤ 取組の現状と一部見直しが必要な理由を記入 〇〇を進めた結果、◇◇など一定の効果があったが、△△の要因により、これ以上の効果が見込めないことから、取組の一部見直しが必要となるため。  評価⑥ 取組の現状と拡充が必要となる理由を記入 〇〇を進めた結果、◇◇など一定の効果があったが、さらに取組を拡充することによって、より一層の効果が見込まれるため。  評価⑦ 新たな取組が必要となる背景(課題等)を記入 〇〇センターの整備が完了し、今後は同施設における調査・研究等に置きかけた取組を新たに追加する必要があるため。					
			2	【復興】妊産婦の放射線影響の不安の軽減に関する取組							
			3	不妊相談、不妊治療に関する取組							
			4	周産期医療に関する取組							
			5	新生児の健康管理に関する取組							
	② 日本一安心して子育てができる環境づくりを進めます。	6	【復興】子どもの健康管理調査に関する取組								
		7	【復興】子どもの放射線被ばくを防ぐことに関する取組								
		8	【復興】原子力災害を背景とする子どもの運動不足解消に関する取組								
		9	【復興】子どもの医療費無料化に関する取組								
		10	【復興】子どもの心のケアに関する取組								
		11	子育てなどの相談・情報提供に関する取組								
		12	子育て家庭の経済的負担の軽減に関する取組								
		13	乳幼児の健康管理に関する取組								
		14	小児専門医療体制の整備に関する取組								
		15	地域における子育て支援に関する取組								
		16	子育て支援サービスの充実に関する取組	3	保育所入所待機児童数						
		17	子育てしやすい生活環境の整備に関する取組								
		18	男女共同参画による子育ての推進に関する取組								
		19	仕事と生活の調和に配慮した環境の整備に関する取組	4	福島県次世代育成支援企業認証数						
		20	出産・子育てのために退職したに対する就職支援の推進に関する取組	5	育児休業取得率						
	21	援助を必要とする子どもや家庭のための支援に関する取組									
	③ 結婚を支援していく仕組みづくりを進めます。	22	男女の交流・出会いの支援に関する取組	6	独身男女の出会いを支援するイベントの開催件数						
		23	家族の意義についての啓発に関する取組								

保健福祉部  
子ども未来局  
生活環境部  
商工労働部  
総務部



福島県総合計画(ふくしま新生プラン)  
地域別主要施策点検調書

担当振興局	課題	施策への展開方向	主要施策	主な取組	評価(①~⑦)	施策評価(H30年度末時点) (実績・社会情勢等を踏まえた評価理由)	今後の課題	R3年度以降の方向性 (評価④~⑦が記載)	計画書 ページ	
例)				ドロップダウンリストから選択 ① 完了・達成(H30年度末時点) ② 完了見込(R2年度までに) ③ 目的を達せず廃止 ④ 現行の取組の継続が必要 ⑤ 現行の取組の一部見直しが必要 ⑥ 現行の取組の拡充が必要 ⑦ 新たな取組が必要	⑥ 現行の取組の拡充が必要	コメント参照	例(箇条書き) ・○○のため○○が課題 ・○○が未対応のため、○○が課題 ・ ・	コメント参照		
例)					⑦ 新たな取組が必要	コメント参照	例(箇条書き) ・○○のため○○が課題 ・○○が未対応のため、○○が課題 ・ ・	コメント参照		
県北	安全・安心の確保、 避難者等への支援	身近な生活空間である宅地・農林地などの除染や放射性物質に汚染された廃棄物等の処理など、安全・安心に生活できる環境を回復することが求められています。	誰もが安心して生き生きと暮らせる生活圏の形成	1 除染特別地域(川俣町山木屋地区)における国の除染作業を促進させるとともに、市町村が策定する除染実施計画に基づき、市町村及び国と連携し、生活空間や農林地などの除染を行います。また、汚染廃棄物などの円滑な処理を進め、安全・安心な生活環境の回復を図ります。			次期総合計画期間(R3以降)を想定した対応方針を記入願います。現時点での想定のため、記載内容が今後の事業構築に影響するものではありません。  評価①~③は記載不要 評価④~⑦の場合入力(例)  評価④の場合 ○○の取組など継続することを検討  評価⑤の場合 ○○取組など◇◇を△△に一部見直すことなどを検討  評価⑥の場合 ○○取組など◇◇を△△に拡充することなどを検討  評価⑦の場合 新たに○○の取組などを検討		P196~199	
県北		多くの住民が放射線に対する健康不安を抱えながら生活しており、なかでも子どもの心身の健全な発達を促すための活動が十分にできないことが危惧されています。		2 県民健康管理調査等の継続的な実施と健康支援活動により、住民の心身の健康保持・増進を図り、疾病の早期発見・早期治療に繋がります。また、流通食品・学校給食などの徹底した放射性物質検査により、食の安全・安心を確保します。		<入力例> 評価① 成果・実績を記入 ○○を進め、△△を達成した(△△を解消した)。 ※計画より前倒しで完了等の場合は要因も記載			P196~199	
県北		県内外において避難生活を余儀なくされている方々の居住環境の向上や生活再建、また、避難先地域や原子力災害により著しい被害を受けたコミュニティにおける絆の維持・回復が課題となっています。		3 子どもの自然・交流体験活動や屋内遊戯施設などの開設・運営を支援するとともに、子育てや教育に関する様々な不安に応じた相談体制を充実します。		評価② 成果・実績(見込み)を記入 ○○を進め、◇◇年度までに△△を達成する見込み(△△を解消する見込み)。  評価③ 取組目的を達成できない(できなかった)理由を記入 ○○を進めていたが、◇◇の問題が発生し、事業を断念せざるを得ず、目的を達成できなかったため。			P196~199	
県北		原子力災害による被害を受けた自治体や、多くの避難者を受け入れている自治体への継続的な支援が必要とされています。		4 県内外において避難生活を余儀なくされている方々の生活再建や、健康の保持・増進を図るとともに、住民同士や地域との交流を促進する取組を進めます。		評価④ 取組の現状等を記入 ○○を進めていたが、◇◇の要因により△△が完了(達成)していないため、R3年度以降も引き続き現行の取組を継続する必要があるため。			P196~199	
県北				5 復興公営住宅の整備等により住環境の向上を図るとともに、被災した児童生徒への就学援助など、教育環境の充実を図ります。		評価⑤ 取組の現状と一部見直しが必要な理由を記入 ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があつたが、△△の要因により、これ以上の効果が見込まれないことから、取組の一部見直しが必要となるため。			P196~199	
県北				6 避難指示区域等の指定を受けた自治体、当地域に避難した自治体、多くの避難者を受け入れている自治体それぞれが必要とする施策への対応を図ります。また、当地域内に「長期避難者等の生活拠点」が設けられるときは、関係自治体とともに円滑な推進に努めます。		評価⑥ 取組の現状と拡充が必要となる理由を記入 ○○を進めた結果、◇◇など一定の効果があつたが、さらに取組を拡充することによって、より一層の効果が見込まれるため。  評価⑦ 新たな取組が必要となる背景(課題等)を記入 ○○センターの整備が完了し、今後は同施設における調査・研究等に重きを置いた取組を新たに追加する必要があるため。			P196~199	
県北		人口流出や少子高齢化の進行により、地域活力が低下するとともに、地域を担う人材などが不足する傾向にあり、今後、更に加速することが懸念されています。		7 市町村、大学等教育機関、関係団体などと連携しながら、地域の住民生活を支える人づくりを図ります。					P196~199	
県北		人口減少社会を見据えた地域の維持・活性化		東日本大震災以降、低迷が続いている交流人口の回復に向けた取組とともに、当地域を訪れる人々との多様な交流を通じた地域の活性化が求められています。	8 潜在的な地域資源を発掘して、新たな観光資源として活用し、既存の観光地と繋げる着地型観光の取組を推進します。また、魅力的な観光情報の発信や、ふくしまを支援する人々との交流を促進し、交流人口の回復・拡大を図ります。					P196~199
県北					9 都市部と温泉地などの観光地が近接している利便性や、学術機関の集積に伴う会議の開催など、地域の特性に応じて開催されるコンベンション・会議等に訪れる国内外の方々を温かく迎え入れ、交流を深める取組を推進します。					P196~199
県北					10 農業・宿泊体験など、農山村地域と都市部との交流を促進するため、受入体制の整備を図り、地域の活性化に繋げるとともに、定住・二地域居住などの取組により、地域外からの人材の定着を促進します。					P196~199
県北	原子力災害により、産業全般にわたり風評被害が発生し、その払しょくが課題であるとともに、避難者の生活再建や帰郷後の生活を支える就業機会の確保が求められています。	11 農産物・工業製品などの徹底した放射線モニタリング調査とともに、様々な情報媒体を通じて産業全般に関する正確な情報発信を行い、風評の払しょくを図ります。					P196~199			
県北	農林業などにおいて、食の安全・安心の確保や生産者の意欲の維持とともに、担い手の育成、収益性の高い経営・生産方式の導入、高付加価値化が求められています。	12 農産物等の安全・安心の確保に関する取組を効果的に発信し、理解の促進を図るとともに、放射性物質の除去・低減化に係る研究や技術開発を促進し、得られた知見を共有しながら、生産者の意欲を維持する取組を進めます。					P196~199			